

## 子どもの目と歯の健康プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博							
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度						
事業実施方法	補助金																	
補助率	県1/2、市町1/2																	
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ I 学びを伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画、元気な福井の健康づくり応援 ]											
[解決すべき問題・課題] 全国平均に比べ、本県の(処置歯を含む)むし歯のない児童・生徒の割合が低い。						[問題・課題を表す客観的データ] むし歯のない児童生徒の割合(令和2年度) 全国: 80.4% 福井県: 74.7%												
[事業目的] 生活習慣を見直すことを通して、視力低下の進行を遅くするとともに、トレーニングにより視覚機能の改善を促進する。 正しい歯みがきの仕方を身につけることや乳歯のむし歯治療を促進させることを通して、永久歯のむし歯予防対策を促進する。																		
[事業内容]  ○目の健康プロジェクト ・目によい生活習慣を身につけるための「生活習慣チェックカード」の活用 ・「目の健康を守る3か条」運動、「目のリフレッシュタイム」「ビジョントレーニング」の実施  ○歯の健康プロジェクト ・秋に歯科追加検診を実施し、状態観察とむし歯治療を勧告(市町への補助) 対象: 小学校1・4年生 補助率: 県1/2、市町1/2																		
[受益者] 小・中・特別支援学校の児童生徒						[想定される受益者数] 約62,000人												
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 子どもの歯の健康プロジェクト(健康政策課)(役割分担) 保健体育課: 就学児童生徒 健康政策課: 未就学児											
市町との連携状況	小学1、4年生全員を対象に秋の歯科追加健診を実施					他県の状況	石川県: 特になし 富山県: 特になし											

## 子どもの目と歯の健康プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博		
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H24 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助金							経過年数	11 年				
補助率	県1/2、市町1/2												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	1,270					1,270							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			4,926	4,603	1,350	1,300	1,270	対象児童数の減					
2月現計予算額の推移			4,926	4,603	594	960							
決算額の推移			4,417	4,332	561								
前年度までの 主な増減理由		H30年度：正しい歯みがきリーフレットの作成について、委託から印刷へ見直し R元年度：新たに中学1年生にデンタルミラーを配布、小学1年生への口模型配布を終了 R2年度：・各市町や学校が必要な情報を追記できるよう生活習慣チェックカードをデータ配信に変更 ・学校での発達段階に応じた歯みがき指導法が定着したため、歯垢染色剤等の配布を終了 R3年度：対象児童数の減											
[成果指標等の推移]													
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	むし歯のない（処置者を含む）小学生の割合（%）	（目標）	(73.6)	75.0	75.0	75.0	(78.2)	(75.0)	(78.2)	学校保健統計調査より抜粋			
		実績	74.2	73.7	74.7								
活動指標	歯磨き指導実施率（%）	（目標）	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	受講者数／全児童数			
		実績	100	100	100								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
・虫歯の日（6月）、いい歯の日（11月）に合わせて歯磨き指導を実施 ・むし歯のない（処置者を含む）小学生の割合は改善傾向にある。 H27：68.4%      R元：73.7% H28：68.0%      R2：74.7% H29：71.1% H30：74.2%									<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	30	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 学校安全防災推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H24 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ I 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 大震災や台風・集中豪雨等による自然災害、登下校中の交通事故、不審者による 犯罪被害など、子どもの安全を守るための対応がより一層必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 防災専門家のアドバイスを受け、危機管理マニュアルを見直した学校の割合 令和2年度末 52% (アドバイザー未派遣校48%)						
[事業目的] 学校における実践的な避難訓練や児童生徒の交通安全教育、防災教育、防犯教育を充実することで、安全安心な学校生活の確保を図る。												
[事業内容] ○学校安全防災の推進 ・学校防災アドバイザーや緊急地震速報システムを活用した避難訓練等を行うモデル地域を設定 ・モデル地域で構築された学校安全の推進体制を県内に普及し、全域で推進体制を構築、防災教育を推進する。(R4年度:13のモデル地区を設定) ○学校安全教室の推進 教職員を対象に講習会を開催し、学校での防災・防犯・交通安全に対する意識向上等を図る。(R4年度:防災教室講習会を開催)												
[受益者] 小・中・特別支援学校の児童生徒と教職員						[想定される受益者数] 約62,000人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	実践地域(市町)を指定し、地域内の学校を対象に事業を実施					他県の状況	富山県・石川県:学校防災アドバイザーを派遣					

## 学校安全防災推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算							□ 補助金				
補助率	—							□ その他				
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	3,589		3,589					学校安全推進事業				
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			3,961	4,524	2,738	2,592	3,589	モデル地区学校数の増				
2月現計予算額の推移			3,961	3,186	811	2,043						
決算額の推移			2,579	2,894	158							
前年度までの 主な増減理由		R元年度：実践地域の委員会開催費用の増 R2年度：学校の状況に応じ、学校防災アドバイザー派遣・緊急地震速報装置導入の計画を見直し 教職員対象の講習会（防災・防犯・交通安全）を年1回（1テーマ）・3年サイクルの開催に変更 R3年度：緊急地震速報装置設置予定校数の減										
[成果指標等の推移]												
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	学校防災アドバイザー派遣の学校の割合（%）	（目標）	(42)	(49)	(57)	(68)	(80)	(100)	(100)	R6年度に100%		
		実績	42	45	52	63						
活動指標	学校防災アドバイザー派遣数	（目標）	(31)	(32)	(32)	(34)	(34)	(34)	(32)			
		実績	24	13	28	44						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価			
・各モデル地区において避難訓練等を実践 ・学校防災アドバイザーを派遣（44校） ・防犯教室講習会をオンラインで開催（約300名参加）  ・モデル地域内の学校数により学校防災アドバイザー派遣数は変動する。（令和6年度までにすべての学校へ派遣）									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									■ 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 自転車安全利用推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博							
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度						
事業実施方法	実行予算																	
補助率	—																	
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ IV 安心を高める(地域力) ] 政策 [ 16 防災・治安先進県ふくいの実現 ]				関連する県の計画等		福井県自転車の安全で適正な利用に関する条例、 [ 福井県教育振興基本計画、福井県交通安全計画、 福井県自転車活用推進計画 ]											
[解決すべき問題・課題] ・「福井県自転車の安全で適正な利用に関する条例」において、自転車乗車時の安全利用が努力義務化 ・並走やながら運転など、高校生の自転車乗車マナーについて指摘あり						[問題・課題を表す客観的データ] 指導警告票交付数における高校生の割合 45.5%												
[事業目的] 県内高校生、特別支援学校生の自転車乗車時の安全利用を普及・啓発するとともに、学校における関係機関との連携体制を構築し、交通安全に係る取り組みの継続を目指す。																		
[事業内容]  ① 地域と連携した自転車教室の開催 ② 警察による登下校時の街頭指導 ③ 交通安全教材の作成  対象：県内の高等学校、特別支援学校																		
[受益者] 県内の高等学校生、特別支援学校生						[想定される受益者数] 約22,000人												
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 自転車安全利用推進事業(県民安全課) (役割分担) 条例の周知、保険総合窓口の開設、高齢者向け自転車教室の開催等											
市町との連携状況						他県の状況												

## 自転車安全利用推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算					□ 法定受託事務			□ 補助金			経過年数		
補助率	—					□ その他			□ その他			1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	420					420								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						420								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	警察と連携した交通安全に係る取り組みを継続する学校数 (目標) 実績					(15)	(43)	(43)						
活動指標	警察と連携した交通安全に係る取り組みを行った学校数 (目標) 実績					(15)	(43)	(43)						
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## ふくいの和食教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ I 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]  朝食欠食の改善、共食の推進等、児童生徒の心身の健全な発達や望ましい食習慣の確立を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ]  朝食を全く食べない子どもの割合 0.6% (令和元年度11月 県教育委員会調査)						
[事業目的] ①児童生徒や保護者の食に対する関心を高める ②ふるさと福井の食文化や地場産物を活用した給食メニューの考案 ③食に関心のある児童生徒が個性を発揮し自らの可能性に挑戦する機会の提供												
[事業内容]  ○ふくいっ子アイデアメニューコンテストを開催 ・対象 小学5～6年生、中学生、特別支援学校の児童生徒 ・テーマ 【第一部門】家族と食べたい朝ごはん 【第二部門】ふくいの恵みを味わう学校給食 ・上位入賞メニューは、レシピ集とするほか、店頭販売や学校給食で提供												
[受益者] 小・中・高等・特別支援学校の児童生徒、保護者、教職員						[想定される受益者数] 約35,000人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	入賞メニューを各市町の学校で提供					他県の状況		神奈川県、石川県、福岡県等の複数の自治体で、メニューコンテスト類似事業を実施				

## ふくいの和食教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算					□ 法定受託事務			□ 補助金 □ その他					
補助率	—													
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	339					339								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			1,060	989	519	744	339	学校給食レシピ集の印刷をデータ配信に変更						
2月現計予算額の推移			1,060	989	0	405								
決算額の推移			765	654	0									
前年度までの 主な増減理由		R元年度：高校生の弁当講習会を終了 R2年度：事業見直しにより、指導力向上研修、調理従事員研修を標準外経費へ移行 R3年度：コンテスト実施方法の見直し（朝食に関するテーマの追加、学年に応じた部門の設定、調理実技の廃止等）												
[成果指標等の推移]														
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	朝食を全く食べない子ども の割合 (%)	(目標) 実績				(0.5) 0.9	(0.5)	(0.5)	(0.5)	R6年度に0.5%以下 (R3から目標を変更)				
活動指標	メニューコンテスト応募 校の割合 (%)	(目標) 実績				(100) 15.3	(100)	(100)	(100)	(R3から目標を変更)				
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
【第一部門】家族と食べたい おにぎり朝ごはん 応募：1,336人 【第二部門】ふくいの恵みを味わう学校給食 応募：183人  ・実施方法の見直しを行った後初年度であり、活動目標は達成できなかったが、入賞メニューについて、県内飲食店2店舗で提供、県内小中学校へレシピ集・ポスターを配付、県イベント（農林水産まるごとフェスタ、学校給食週間）で展示し、県内普及を図った。				より多くの子どもが参加できるよう、応募書類の様式を見直す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	405			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				



## トップアスリート派遣による体育授業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博				
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R4 年度					
事業実施方法	実行予算														
補助率	—														
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ I 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画、スポーツ推進計画 ]								
[解決すべき問題・課題] ・本県の体力テストの結果は上位だが、記録平均値が下降している種目がある。(握力、ボール投げ等) ・中学校の体育授業で必須のダンスについては、思春期を迎えた生徒にとって「恥ずかしい」という感情が先に出てしまい、他の領域よりも積極的に体を動かして参加できない傾向にあり、教員の指導力向上も必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 平成20年度と令和元年度の体力テスト記録比較 ・握力 小5男▲0.56、小5女▲0.26、中2男▲0.55、中2女+0.18 ・ボール投げ 小5男▲3.63、小5女▲1.02、中2男▲0.02、中2女+0.19 ・50m走 小5男▲0.04、小5女▲0.03、中2男+0.03、中2女+0.06									
[事業目的] 小中学校の体育の授業に、県内のトップアスリートを補助指導者として派遣し、より専門的な見地から指導を行い、子どもたちが「走る」「跳ぶ」「ボールを投げる」「リズムに乗る」などの正しい動作を楽しみながら学ぶことで、体力・運動能力の向上につなげる。															
[事業内容] ○体育授業にトップアスリートを派遣 ・小学校(3～6年生)51校 種目:短距離走、ソフトボール投げ、なわとび ・中学校(1～2年生)21校 種目:短距離走、ハンドボール投げ、ダンス															
[受益者] 小学校3～6年生、中学校1～2年生						[想定される受益者数] 約4,200人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 1県民1スポーツ普及事業 (実績) 小中学校における国体種目やニュースポーツの体験、トップアスリートによる手本の提示を通して、児童生徒のスポーツへの関心が高まった。					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	各小中学校の希望により実施種目を決定					他県の状況									

## トップアスリート派遣による体育授業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 区分	事業 開始 年度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	実行予算											経過年数			4 年
補助率	—														
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,172					3,172									
[予算額の推移等]												(単位：千円)			
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				3,141	3,150	3,216	3,172								
2月現計予算額の推移				1,641	2,533	2,736									
決算額の推移				1,536	2,262										
前年度までの 主な増減理由		R元～3年度：派遣校数の増減													
[成果指標等の推移]															
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	動作のポイントが分かり、運動意欲が向上した参加児童生徒の割合(%)	(目標) 実績		(80) 94.3	(80) 93.8	(80) 94.6	(80)	(80)	(80)	アンケート調査を実施					
活動指標	指導者派遣校数(小・中)	(目標) 実績		(70) 54	(70) 59	(70) 68	(70)	(70)	(70)	小学校50校、中学校20校					
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
小学校(3～6年生) 49校 中学校(1～2年生) 19校  ・感染拡大防止のため、一部の学校が令和4年度へ実施を延期 ・実施校においては、参加児童生徒の94.6%に、動作等のポイントの理解が深まり運動に対する興味関心が高まるなど、運動意欲の向上が見られた。				新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度、3年度実施予定校のうち一部が令和4年度に実施を延期				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額  44				

## 新たな部活動指導体制推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助金											
補助率	県1/3、市町2/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ I 学びを伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]	関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画、スポーツ推進計画 ]								
[解決すべき問題・課題] 競技経験や指導経験の浅い教員が顧問を担当する運動部活動では、生徒へ専門的な技術指導を行うことができない。						[問題・課題を表す客観的データ] 顧問が「自身経験種目でない」または「5年以上の指導経験がない」 中学校 部活動数 146名/581部活動 高等学校 部活動数 86名/375部活動						
[事業目的] 運動部活動に専門的な技術指導ができる地域スポーツ指導者を配置し、生徒への技術指導の充実を図る。												
[事業内容] ○競技経験や指導経験の浅い顧問が担当する運動部活動に、地域スポーツ指導者を配置 配 置：中学校104名・高等学校68名、週1回2時間程度 実施主体：県、市町 補 助 率：(実施主体が市町の場合) 県1/3  ○地域スポーツ指導者の資質向上のため、生徒への指導上の配慮事項などを中心とした講習会を開催 年2回(嶺北、嶺南)												
[受益者] 中学校、高等学校の運動部活動加入者						[想定される受益者数] 約25,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域スポーツ人材活用実践支援事業 (実績) 中学校、高等学校での運動部活動に地域スポーツ人材を活用 H28: 95名 H27: 102名 H26: 115名					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新たな部活動指導体制推進事業(教職員課) (役割分担) 退職教員などの人材を部活動指導員として配置し、部活動指導と大会時の引率・指導等の顧問業務を実施				
市町との連携状況	中学校の運動部活動に地域スポーツ指導者を配置(県1/3、市町2/3)					他県の状況		地域スポーツ指導者の活用状況 ・石川県 …無し(市町単独、学校(PTA)負担等で約500人活用) ・富山県 …中学校: 450人、高校: 170人				

## 新たな部活動指導体制推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助金											
補助率	県1/3、市町2/3											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	7,791					7,791						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			7,660	7,660	7,714	7,726	7,791	県立高校の地域スポーツ指導者配置数の増加				
2月現計予算額の推移			7,660	6,900	6,251	7,586						
決算額の推移			6,065	5,983	5,509							
前年度までの 主な増減理由		R2年度：講習会講師旅費の増 R3年度：講習会講師旅費の増										
[成果指標等の推移]												
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	生徒への技術指導が充実した部活動の割合 (%)	(目標) 実績			(80) 99	(80)	(80)	(80)	(80)	専門的な技術指導ができる地域スポーツ指導者の配置により、生徒への技術指導の充実を図る。 ※ R3:3月末までの活動後、実績報告書をもとにR4.4に集計		
活動指標	地域スポーツ指導者配置人数	(目標) 実績		(185) 148	(185) 156	(185) 151	(185) 172	(185)	(185)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価			
172名の地域スポーツ指導者を配置 (中学校104名、県立高校68名)  ・部活動の活動時間や競技種目などの条件に合う人材が見つからず、対象全ての部活動に配置できていない。 ・地域スポーツ指導者を配置した部活動においては、その99%で技術指導の充実の成果が見られた。(令和2年度)									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 部活動地域移行研究事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ I 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画、スポーツ推進計画 ]					
[解決すべき問題・課題]  国の方針である部活動の地域移行を進めるにあたっては、指導者の確保、地域クラブとしての受け皿づくり、保護者負担と行政支援の在り方など調整すべき課題が多い。						[問題・課題を表す客観的データ]  ・担当する部活動の競技経験がない教員 中学校26.9% (R3日本スポーツ協会調査) ・地域との連携がない運動部活動 中学校73.7% ( " )						
[事業目的] 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、県内のモデル地域において実践研究を実施し、各地域の実情に応じた課題の整理や今後の在り方を検討する。												
[事業内容]  ○県内モデル地域において休日の運動部活動の地域移行を実践  ○県内有識者、各地域関係者による検討委員会において、地域に応じた課題を整理 【研究テーマ】 * 学校との連携 (教育指導、学校・保護者対応、兼職教員の負担) * 指導者の確保 (指導者登録制度、教員兼業) * 地域部活動の運営への行政支援 (受益者負担軽減、指導者支援)  ○地域移行に向けた普及・発信のため、コーディネーターを配置												
[受益者] クラブ会員						[想定される受益者数] 350人 (R3実績: 2地域174人、R4: 4地域を予定)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 部活動地域移行研究事業 (義務教育課) (役割分担)  保健体育課: 運動部活動の地域移行について検討 義務教育課: 文化部活動の地域移行について検討				
市町との連携状況	県内市町をモデル地域に指定し、中学校において実践研究を実施					他県の状況		全国の都道府県、政令市において国庫事業を受託、拠点地域を選定し、実践研究を実施				

## 部活動地域移行研究事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博			
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	実行予算											経過年数		
補助率	—											2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	8,159	8,159				地域運動部活動推進事業								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					2,819	8,159	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点地域の追加</li> <li>・地域移行支援コーディネーターの配置</li> </ul>							
2月現計予算額の推移					2,598									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	調査対象者数(人)	(目標)			(100)	(300)	—	—	モデルの地域部活動に参加した生徒、保護者等 中間目標：県内全市町で部活動の地域移行に関する方針を検討 最終目標：全中学校・高校で生徒の個性を引き出す部活動を実施					
		実績			260									
活動指標	実践モデル地域数	(目標)			(2)	(4)	—	—						
		実績			2									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国が示す2地域(1市・1町)で実践研究を実施</li> <li>・モデルとなる活動に参加した生徒、保護者260名へアンケート調査を実施。参加生徒のうち81.9%から指導に「満足」「とても満足」と回答を得た。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点地域の追加</li> <li>・地域移行支援コーディネーターの配置</li> </ul>				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	-			
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

## 競技力向上対策事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博	
事業主体	県、県スポ協、市町、中体連、高体連 等				事 務 区 分	■ 自 治 事 務  □ 法 定 受 託 事 務	事 業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S41 年度 経過年数 57 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助金											
補助率	県10/10、県1/2・市町1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ I 学びを伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画、スポーツ推進計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 本県からトップアスリートを継続的に輩出するため、福井国体の選手強化の過程で得た有形・無形の「経験、人材、ノウハウ」をレガシーを継承・発展させ、中長期的な視点で選手確保・育成・強化サイクルを形成するとともに、それを支える指導体制の充実を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] H30福井国体前 全国大会での上位入賞数：100件未満 国体順位：20位台以下						
[事業目的] 計画的な選手の確保、育成等の競技力向上対策を実施し、国民体育大会をはじめスポーツの全国大会において本県選手が活躍することを通して、県民に夢と感動を与え、本県のスポーツの普及・振興を図る。												
[事業内容] ○選手確保 ・競技体験会の開催やトップアスリートを目指す子どもを対象に育成プログラムを提供 ・県内の強豪高校で競技力向上に励む選手へ下宿費用を支援 ・「スポジョブふくい」を活用し、アスリートの県内就職を支援 等 ○育成・強化 ・中学生の時から県選抜チームを結成し、定期的な練習会や強化遠征・合宿を実施 ・県外遠征やスーパーアドバイザーの配置により「チームふくい」を継続的に強化 ・強豪の県立高校の重点強化により、地域と学校をつなぐ継続的な選手の育成・強化体制を構築 等 ○環境整備 ・体操やボート、ホッケーに続く、地域に根差した新たなお家芸競技を育成 ・強化合宿や練習会、大会等にチーム専属トレーナーやメンタルトレーニングコーチ等のスポーツ医・科学の専門家を派遣 ・企業から支援を受けて自立・強化を目指すクラブチーム等を支援 ・各競技団体の中核となる若手指導者を育成												
[受益者] 国体の正式競技(41競技)の選手・指導者						[想定される受益者数] 約80,000人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	各競技団体と連携し、体操やボート、ホッケーに続く、地域に根差した新たなお家芸競技を育成(県1/2、市町1/2)				他県の状況		歴代の国体開催県は、開催後も継続して競技力向上事業を実施					

## 競技力向上対策事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博	
事業主体	県、県スポ協、市町、中体連、高体連 等				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S41 年度 経過年数 57 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助金											
補助率	県10/10、県1/2・市町1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	532,276				532,276							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		1,465,914	870,821	804,934	674,163	532,276	オリンピック出場を目指す選手の支援を見直し					
2月現計予算額の推移		1,384,052	796,545	635,158	570,518							
決算額の推移		1,373,387	749,016	552,648								
前年度までの 主な増減理由		H30年度：福井国体 R元～3年度：選手支援制度の見直し										
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	全国大会での上位入賞件数(1～3位)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	教育振興基本計画、スポーツ推進計画の目標 (R2から目標を変更) ※R3：R4.1末時点			
	実績			130	166							
活動指標	新規選手確保数(少年・成年)			(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(R2から目標を変更) ※R3：R4.1末時点			
	実績			50	46							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルス感染症の影響で各種大会が延期・中止となり、選手の強化活動も制限されたが、可能な限りの競技力向上対策に取り組み、成果目標を達成した。								■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	-	
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		